

平成25年 138
月刊 4 月増刊号
発行 「お〜い」編集委員会
品川区西大井 4-1-8
大井第三地域センター内
☎ 3773-2000

新一年生 合計164名 **ご入学おめでとう!**

| | |
|-------------|-----|
| ・大井鹿島町会 | 31名 |
| ・大井庚塚町会 | 28名 |
| ・出石町会 | 24名 |
| ・西大井二丁目町会 | 23名 |
| ・西大井四丁目町会 | 18名 |
| ・西大井五丁目伊藤町会 | 28名 |
| ・西大井六丁目町会 | 12名 |

町会めぐり シリーズ企画 **わたしが町会長です!** **大井鹿島町会**

私は昭和6年に埼玉県加須市で農家の男3人と女1人の三男として生まれました。私の祖父の弟は郵政省の役人でした。仕事の後半は地方の主要都市の郵便局長を歴任し中央区の京橋郵便局長で終戦直後退官しました。そのときの住居は中野区にあった官舎でした。昭和22年特定郵便局長になり鹿島町の現在の品川大井七郵便局に来たのです。祖父の弟には子供がなかったので、私が養子になりました。私は明治学院中学・高校から早稲田大学政治経済学部経済学科を昭和32年卒業、まもなく養父の後を継ぎ鹿島町会の役員も継ぐことになりました。そして、地域とのお付き合いは、長男が大井第一小学校に入学した際にPTAの役員さんから会計監事になってもらいたいとのことでしたので、お引受けすることにしました。

その結果、更に伊藤中の50年度の会長、大井第一小学校の51～53年度会長も勤めさせていただくことになったのです。

鹿島町会の会長には平成5年11月に就任して現在に至っております。 (大井鹿島町会会長 小林昌雄 記)



「品川区小中連合作品展」が開催されました

2月27日(水)～3月1日(金)、品川区総合区民会館(きゅりあん)にて、「品川区小中連合作品展」が開催されました。昨年度までは、小・中連携グループごとに開催されていましたが、今年度から品川区の全小中学校の児童・生徒の代表作品を一堂に展示する形となり、各校それぞれの創意工夫を凝らした作品が数多く展示されました。

書写は小学校1年生の硬筆から中学校3年生の行書まで一斉に展示され、中には大人顔負けの力作もありました。図工・美術は立体的な絵や点描写、切り絵、判子などバラエティに富んだ素晴らしい作品ばかりでした。また、エプロンや巾着、刺し子、布製の絵本などの家庭科作品は子どもたちがそれぞれアレンジしてあり、本棚やラジオなどの技術作品はどれも繊細・緻密で丁寧な仕上がりとなっていて驚かされました。

ただ、開催期間が短く、平日だったこと、展示場が狭かったこと、自校の作品が見つけづらかったことが少し残念でした。

今回の作品展を通して、子どもたちに秘められた大きな可能性を改めて感じさせられました。 (阿部 記)





防災研修会を行いました

2月19日(火)に大井第三地区の防災研修会を実施し「地図と測量の科学館」と「LIXILソーラーパワー」(茨城県)を訪問しました。地図と測量の科学館では、地震が起こる仕組みを学びました。日本の地形及び地殻プレートを3Dメガネで立体的に観測し、いつ地震が起きてもおかしくない地形に住んでいることを理解しました。また、東日本大震災の際に、北茨城市に到達した津波の高さ(約8m)を再現したビニールテープを目の前にし、東北で発生した30mの津波がいかに高かったのかを体感しました。災害の仕組みを学んだ後は、大井第三地区で起こりえる具体的災害に着眼し、木造住宅が密集する大井第三地区で地震時に備えなくてはならないのは「火災」ということを確認しあいました。

午後は、LIXILつくばソーラーパワーを訪れ、メガワット出力の太陽光発電施設を見学しました。広大な敷地に敷き詰められた太陽電池パネルを展望台から一望しました。参加者からは、「電気を作ることはなんて大変なんだ」という感想が聞かれました。 (大井第三地区防災協議会事務局 記)


